

見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

September 2019

vol.65

September

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

◆ 大同高校（愛と力の筏像）

所在地：名古屋市南区大同町

交通：名鉄常滑線「大同町」駅 東 約 100m

昭和 34（1959）年の伊勢湾台風で、名古屋市南区は、名古屋市における死者・行方不明者 1,851 名のうち 76.6% にのぼる 1,417 名を数え、住宅の全壊も 43.7% の 2,697 戸、流失も 61.3% の 954 戸を占めるなど、特に被害が激しかった地域です。これは主に、高潮による猛烈な水勢と、貯木場から流出したラワン材が町の中を暴れまわったことによります。被害の著しい地域では、木造の建物はほとんどが破壊されますが、一方で、鉄筋コンクリート造の建物はほとんど損傷がなく、木造の建物の残がいの中に建ち残っていたことが、『伊勢湾台風災害誌（名古屋市総務局企画部調査課編集 昭和 36 年）』に記載されています。

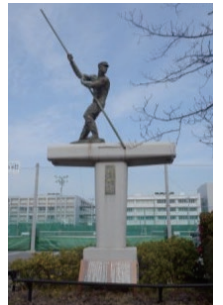
被害の極めて大きかった柴田・白水地区に位置する大同工業高校（現在の大同高校）では、ちょうど伊勢湾台風の襲来した昭和 34 年に鉄筋コンクリート造 4 階建ての校舎が完成したところで、校舎は高潮の水勢や流木に耐え、やがて周辺住民の避難所やボランティアの拠点となります。

台風が去ったあと、無事だった校舎に徐々に集まってきた教師や生徒たちは、地域の人々の救援に貢献できないかと考え、救援生徒隊を構成します。周辺一帯が浸水状態であったため、活動にあたり、生徒たちはまず最初に救助のための筏づくりを提案します。もともとのづくりが得意であった生徒たちは、流れ着いた丸太やちぎれた電線、布切れなど、使えるものはなんでも使って筏を作りました。

救援生徒隊はこの筏を使って、屋根の上などで救助を求める地域の人々を筏に寄せ学校に集めることから始め、人員物資の輸送、遺体を安置所へ送る役割まで担いました。そのほか、傷病者の救護や清掃活動など、地域の復旧・復興に向けて力を尽くした彼らの活躍は、「災害の救助にあたり抜群の功労があった」と認められ、昭和 35 年 3 月に総理大臣からの表彰も受けています。

大同高校には、生徒たちのこの献身的な活動を称えた愛と力の筏像が設置されています。この像は、筏に乗って救助にあたる生徒の姿をかたどったブロンズ像で、筏（台座）の高さが当時の高潮水位を示しており、裏面の銘板には台風による当時の惨状とともに、「泥海に屹立する本館は 月余にわたり二千余名の避難者の救いの場となり 全校生徒は率先して人命救助 傷病者救護 人員物資の輸送 汚物の清掃 生産の復興など献身的な活動を続け ついに総理大臣から『抜群の功労』として表彰されるに至った」こと、また、「これら純真な学徒の愛と力の姿を長く伝えて その行為を顕彰すると共に後進の鼓舞激励に資するものである」と、建立の目的が記されています。

大同工業高校の生徒たちの活躍は、平成 29 年に大同高等学校図書委員会が作成した影絵による動画「愛と力の筏像」にまとめられており、youtube で閲覧することができます。（youtube で「愛と力の筏像」で検索すると見つかります。）



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していたかとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

◆大同高校の周辺には…

● 東南海地震の碑

所在地：名古屋市南区豊田 名南ふれあい病院

交通：名古屋市営バス「三新通二丁目」停 すぐ

昭和 19（1944）年昭和東南海地震で、軍需工場の建物が倒壊し、動員されていた労働者と学徒、朝鮮女子勤労挺身隊員 57 人が犠牲になりました。この碑は慰霊のために建てられたもので、碑には「悲しみを繰り返さぬようここに真実を刻む」と書かれています。



● 浜田南公園

所在地：名古屋市南区浜田町

交通：JR 東海道本線「笠寺」駅 南 約 1.5km

公園内に「伊勢湾台風殉難者慰霊之碑」があり、当時の状況のほか、水害にあわれた人達の遺品の雨靴が道路わきに積まれ“くつ塚”と呼ばれるようになったこと、殉難者の遺骨を安置してご冥福をお祈りすることなどが記載されています。



● 大江付近

所在地：名古屋市港区野跡 交通：名古屋臨海鉄道あおなみ線「野跡」駅 北西 約 800m

名古屋市南部では、昭和東南海地震で、地割れ、水・土砂の噴出、家屋の全壊・半壊が発生しています。中でも埋立地に造られていた大江の航空機工場は、床の亀裂、泥水の噴出などにより、生産が一時完全に停止したとされています。

◆詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

★ 秋露祭

秋の七草が咲き始める白鳥庭園で、毎年秋露祭が開催されます。9月13日から15日の観月茶会では、仲秋の名月の方角を計算して建てられた茶室「清羽亭」で、月を楽しむための茶席が用意されます。9月16日の涼風茶会では、芝生広場の野点席で秋の七草を愛でる茶席が設けられます。



白鳥庭園 HP より

そのほか、芝生広場での星空観賞会（14日）や、日本文化の精神を支える「道」を取り上げたギャラリートーク（15日、テーマは「華道」）なども予定されています。

あいちの農産物

いちじくは聖書にも話が出てくるように、古くから人々に親しまれている果物です。愛知県内では昭和40年代に入り栽培が本格化し、現在では安城市や碧南市を始め各地で栽培され、日本一のいちじく産地となっています。



愛知県園芸農業課HPより

甘くて独特のうま味のあるいちじくは、食物繊維を始めビタミン類やカルシウム、鉄分などのミネラルを多く含み、美容と健康に良いと言われ、ジャムやジュースも開発されています。

●ブレイクタイム●

♪ 伊勢湾台風 60 年市民防災の集い

伊勢湾台風 60 周年の今年、その教訓を活かし悲劇を繰り返さないために、9月7日に大同大学滝春キャンパスで伊勢湾台風 60 年市民防災の集いが開催されます。

防災シンポジウムでは「伊勢湾台風の経験を参考に巨大災害を生きのびる」と題して、防災についての講演などが行われるほか、体験型イベント、緊急車両の展示なども行われます。また、記録フィルムの上映や写真展も開催され、当時の様子がわかる貴重な映像や写真を見ることができます。



◆この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減斎の会・名古屋大学減災連携研究センター 令和元年9月）